

【無料/要申込】

8.18.2018



～ 古道とセギのささめきに、耳を澄ませる。～

第16回 歴史的風致散策

松里の歴史的風致散策



秩父往還をいく♪松里の歴史的風致に触れよう！

information

■ 散策ルート 6.5 km



恵林寺 ≫ 常泉寺 ≫ 白髭神社 ≫ 十組屋敷跡 ≫ 土屋家住宅 ≫ 松尾神社 ≫ 放光寺 ≫ 恵林寺
(7:50集合) (国登録有形文化財) (正午解散予定)



「秩父往還」

秩父往還は、秩父街道または雁坂口ともいい、日本武尊の東征伝説が残る古道でもあります。古くから甲斐と武蔵の往来に利用されていたといわれ、山梨小原西で青梅街道から分かれ、塩山の西を笛吹川の溪流沿いに三富に遡り、雁坂峠を越えて武州秩父郡の大滝村に入り、秩父市の大宮に達するものです。



「セギ」

人々が生活し農業を興せるようになった理由の一つに「セギ」と呼ばれる水路システムがあります。松里地区や塩山地区では、笛吹川や重川を水源とするセギが良好な形で、広範囲にわたり残されており、特に笛吹川水系の「藤木セギ」、「小屋敷セギ」、「井尻セギ」は、計画的にすだれ状の水路網を形成しています。



「松尾神社」

松尾神社祭神は建御名方神、事代主神、罔象女命です。社記によれば、景行天皇41年の創建と伝えられ、昔から松尾郷の鎮守として信仰されてきました。恵林寺の鎮守でもあり、神社裏の土手は恵林寺から続いていたものと伝えられており、その土塁址の遺構が一部残されています。あわせて6針をまつので「六所明神」とも呼ばれています。



「放光寺」

放光寺は元暦元年(1184)源平合戦で功績をたてた安田義定が一ノ谷の戦いの戦勝を記念して創立しました。明治27年に至って学山で名高い真言宗智山派総本山智積院へ転末して現在に至っております。寺の境内には四季折々の花が咲きみだれ、一名「花の寺」とも呼ばれています。



「恵林寺」

恵林寺は臨濟宗妙心寺派の名刹。元徳2年(1330)に、甲斐牧ノ庄の地頭職をつとめていた二階堂出羽守貞藤(道蘊)が、夢窓国師を招き、自邸を禅院とし創建しました。武田信玄の尊崇を受けた美濃の快川和尚の入山で寺勢を高め、永禄7年(1564)には、信玄自ら寺領を寄進し当山を菩提寺と決めました。

第16回 歴史的風致散策

- 日時 8月18日(土) 午前7時50分～正午
- 集合 恵林寺 駐車場(庫裏東側)
- 参加料 無料(別途、拝観料1000円/保険料200円程度)

※少雨決行。中止の場合は、事前にご連絡いたします。
 ※猛暑が予想されますので、水筒などをご用意ください。
 ※保険料・拝観料は各自でご用意ください。
 (拝観料 放光寺300円、恵林寺・宝物館共通拝観700円)



申込〆切 8月15日(水)

◆申し込み・お問い合わせ先

甲州市教育委員会文化財課 歴史まちづくり担当
TEL 0553-32-5076 FAX 0553-32-5172